

都市再生整備計画 事後評価シート

藤枝中心市街地活性化地区

平成26年3月

静岡県藤枝市

都道府県名	静岡県	市町村名	藤枝市	地区名	藤枝中心市街地活性化地区			面積	160ha
交付期間	平成22年度～25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	414	国費率	0.45		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		道路事業(南新屋地内)、公園(青木中央公園)、地域生活基盤施設(市民体育館耐震化事業)						
	提案事業		事業活用調査(事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(て～しゃばストリート開催事業、光り輝くイルミネーション事業)						
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業		基幹事業	—			—		
	新たに追加した事業		提案事業	—			—		
交付期間の変更		当初	平成22年度～25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—		
		変更	なし						

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
指標1	未利用地改善率	%	0	H21	50	H25		73	○	あり なし	南新屋地内の道路新設により、地区内への宅地供給が促進された。また、青木中央公園の整備により、有効な土地利用転換が図られた。加えて、地域住民の交流拠点や、生活基盤が整い未利用地の更なる土地利用転換が波及し、目標達成に寄与した。	
指標2	公共施設利用者数	人	974,000	H21	975,500	H25		951,348	×	あり なし ●	目標達成に至らなかった要因として、イベントの縮小等により期待通りに利用者数が伸びなかったことが考えられる。一方で、耐震化により、利用者の安心感が確保出来たことは評価できると考える。	平成26年5月
指標3	歩行者通行量(休日)	人	4,811	H20	8,400	H25		8,998	○	あり なし	大型商業施設建設や大規模住宅供給、青木中央公園の整備により、来街者や定住人口の増加が図られた。また、て～しゃばストリート事業等のイベント開催による、街中における回遊性の向上が、目標達成に寄与した。	

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
その他の数値指標1	地区内における公共施設の耐震化率	%	89					100			・市民体育館が耐震化されたことにより、市の耐震計画において、耐震化が必要とされている地区内の全ての公共施設について耐震化が完了した。市民体育館の耐震化は、地域住民の安全性確保につながり、今後の施設利用者数の向上に寄与することが説明できる。	
その他の数値指標2			—	—								

4)定性的な効果発現状況

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況			今後の対応方針等	
	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	公園計画づくりワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ●	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	市民ボランティア等による青木中央公園の維持管理		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ●	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		今後も、市民ボランティア団体等と連携しながら、継続的に実施していく。

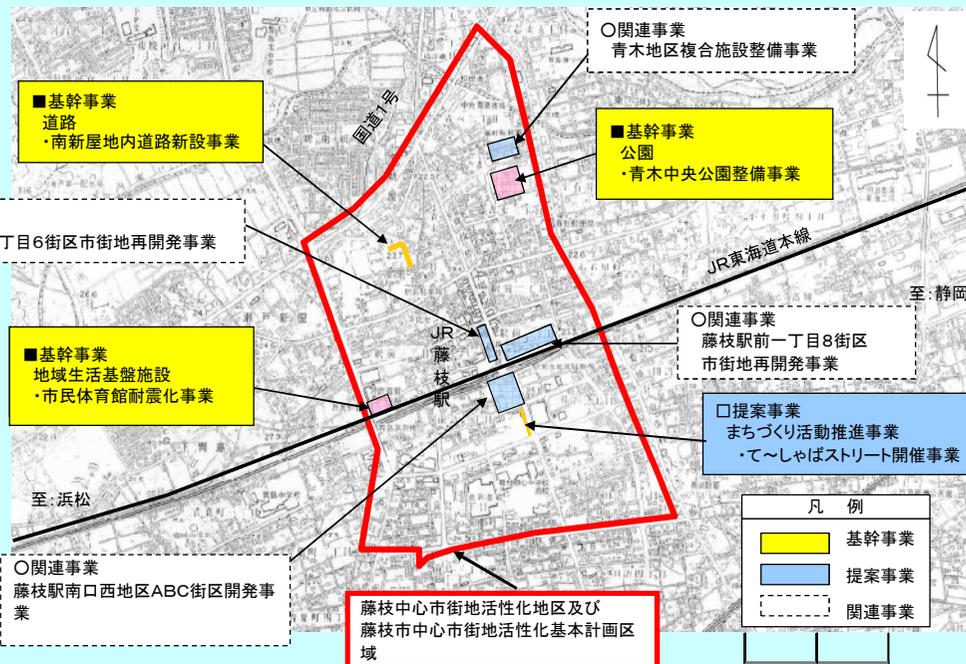
藤枝市中心市街地活性化地区(静岡県藤枝市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 中心市街地の住環境、快適性を向上させ、「集い・すごし・にぎわうまち」と「質の高い暮らし」の実現を図る。 ①生活基盤の整備 ②うるおいと活力あふれるまちづくり ③火災や地震などの災害に強いまちづくり	未利用地改善率	単位: %	0 H21年度	50 H25年度	73 H25年度
	公共施設利用者数	単位: 人	974,000 H21年度	975,500 H25年度	951,348 H25年度
	歩行者通行量(休日)	単位: 人	4,811 H20年度	8,400 H25年度	8,998 H25年度

南新屋地内道路新設事業



市民体育館耐震化事業



青木中央公園整備事業



て～しゃばストリート105 イベント



まちの課題の変化

・南新屋地内道路新設事業による都市基盤の整備、青木中央公園事業による地域住民の交流拠点の創出により、快適な住環境が向上した。また、市民体育館の耐震化がなされ、安心・安全の住環境の向上が達成された。
 ・て～しゃばストリート開催事業等により、イベントやイルミネーションが実施され、回遊したくなるまちづくりが推進された。また青木中央公園や青木複合施設の整備により、周辺における来街者の増加などが促進された。
 ・藤枝駅前一丁目8街区市街地再開発事業、藤枝駅前一丁目6街区市街地再開発事業によって、住宅、商業店舗、公益施設等が計画されていることから、来街者や定住人口の増加が見込まれ、まちの賑わいが創出されていくことが期待できる。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・整備された地域交流拠点について、維持管理面を強化し、より快適な居住環境の促進を図る。維持管理については、地域住民と協働で推進していくことで、コミュニティの形成が促進され街なか居住の促進に繋げて行くことを目指す。
 ・て～しゃばストリートやイルミネーション事業、その他イベント等の継続的実施により、来街機会を創出する。
 ・藤枝駅前1丁目8街区市街地再開発事業、藤枝駅前1丁目6街区市街地再開発事業については、事業の早期完了を目指し事業を推進する。